

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
観光資源論	3	前期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(さかもと ゆうき) 坂本 優紀	初回の授業で説明します。			

(英文科目名 Tourism Resources )

#### 授業の概要

観光資源は、風光明媚な自然景観やレジャー施設、また地域の文化や食など、その実態は様々です。そこで本講義では、まず観光の構造を把握し、観光資源とは何かを整理・類型化します。その際、各地域の観光を事例に、いつ・誰が・どこで・何を・なぜ・どのように観光資源として活用していったのかに着目しながら、多様である観光資源を理解します。また、事例を通して観光資源の発掘と活用に関する考えを養います。

#### 科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。各地の観光資源の発掘と活用の事例を通して、観光を誘発する資源の特性や活用方法を理解します。

#### ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	観光資源に関する基礎知識を修得し、各地の観光資源の特性を説明できる。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	観光資源がどのように活用されているかを調べ、自らの考えを踏まえて説明できる。
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。		
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

#### 授業の方法・講義手法の概要

基本的には講義形式です。適宜グループディスカッションを実施します。

#### 授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修/事後学修
1	講義ガイダンス	事前学修:シラバスの用語の確認(90分)

		事後学修:観光資源を考える(90分)
2	観光の構造	事前学修:観光の基礎を復習する(90分) 事後学修:第2回目の講義資料の復習(90分)
3	観光資源とは(1)	事前学修:観光資源の定義を調べる(90分) 事後学修:第3回目の講義資料の復習(90分)
4	観光資源とは(2)	事前学修:観光資源を整理する(90分) 事後学修:第4回目の講義資料の復習(90分)
5	観光資源の種類(1):自然資源ベース型観光地	事前学修:自然系の観光資源を調べる(90分) 事後学修:第5回目の講義資料の復習(90分)
6	自然の観光資源に関するディスカッション	事前学修:自然系の観光資源を整理する(90分) 事後学修:第6回目の講義資料の復習(90分)
7	観光資源の種類(2):人文資源ベース型観光地	事前学修:人文社会系の観光資源を調べる(90分) 事後学修:第7回目の講義資料の復習(90分)
8	人文社会の観光資源に関するディスカッション	事前学修:人文社会系の観光資源を整理する(90分) 事後学修:第8回目の講義資料の復習(90分)
9	ツーリズムの観光資源(1)	事前学修:観光資源を調べる(90分) 事後学修:第9回目の講義資料の復習(90分)
10	ツーリズムの観光資源(2)	事前学修:観光資源を調べる(90分) 事後学修:第10回目の講義資料の復習(90分)
11	ツーリズムの観光資源(3)	事前学修:観光資源を調べる(90分) 事後学修:第11回目の講義資料の復習(90分)
12	ツーリズムの観光資源(4)	事前学修:観光資源を調べる(90分) 事後学修:第12回目の講義資料の復習(90分)
13	観光と文化の関係	事前学修:観光によって文化がどのような影響を受けるか調べる(90分) 事後学修:第13回目の講義資料の復習(90分)
14	観光資源の保護と活用	事前学修:観光資源の保護について考える(90分) 事後学修:第14回目の講義資料の復習(90分)
15	講義のまとめ	事前学修:これまでの講義内容の確認

		(90分) 事後学修:全講義の復習(90分)
--	--	---------------------------

成績評価の方法・基準

期末試験(60%)、講義時間中のコメントシートとグループディスカッションでの発言(40%)

指定教科書

特になし。

参考文献等

適宜紹介します。

履修上の留意点

多様な観光資源を理解するために、日頃から観光に関するニュースを調べるようにしてください。また、観光に行った際は、何が観光資源として活用されているのか意識しながら観光するようにしてください。

実務経験